



薬物乱用防止教室～6年生～

今日は、6年生が薬物乱用防止教室を行いました。音楽室に集まって、学年合同で高山養護教諭から、「飲酒」を中心に学びました。今回は、事前にアルコールパッチテストをして学習に臨み、「白型タイプ」か「赤型タイプ」か自分自身の体質について知ることができました。この「白型タイプ」は、日本人の約55%が該当し、このタイプの人には、アルコールの分解が早いそうです。また「赤型タイプ」の人には、日本人の45%の人が該当し、アルコールの分解が遅いそうです。また、「赤型タイプ」は、急性アルコール中毒や口・喉・食道などに癌の発生率が高く、気を付ける必要があります。しかし、「白型タイプ」なら大丈夫かというところではありません。「白型タイプ」の人でも急性アルコール中毒になるし、アルコール依存症になる場合があるので、ここも注意が必要です。また、成長期にアルコールを飲むことで、脳が委縮し、体に悪影響が及びます。だからこそ、子供たちには、お酒を勧められたら断る勇気を持って欲しいと思っています。それは、タバコも薬物も同じで依存性が高く、体への影響が大きいからです。

高山養護教諭から「薬物乱用」という言葉の意味を問われ、子供たちは「覚せい剤やシンナーなどをこっそり使うこと」などのイメージを持っていたようですが、もう一つの意味は「医薬品を本来の治療目的から外れた用法や用量で使用する」ということを知り、関心を高めていたようです。また「クスリは『リスク』』という言葉にも関心を示し、「正しく使えば体のためになる」「使い方を間違えると体に影響を及ぼす」ことをしっかりと学んだようです。

6年生はもうすぐ卒業を迎えますが、自立に向けて、飲酒や喫煙、薬物を「断る」とこと、体質を知り正しく飲んで自分の体を「守る」ことを大切にしてほしいと、高山養護教諭からの願いをしっかりと受け止めていました。

ユニセフ募金へのご協力ありがとうございました

「わくわく通信158号」でもお知らせした通り、児童会が取り組んでいた能登半島地震のためのユニセフ募金活動には、大変お世話になりました。帯西の善意が集まり、総額151,070円となりました。皆様のあたたかいご厚志、心からお礼申し上げますと共に、能登半島で被災された方々に役に立つことができればと思います。





それぞれのタイプの特ちょう

白型タイプ	赤型タイプ
▶日本人の約55%	▶日本人の約45%
▶アルコールの分解が早い	▶アルコールの分解がおそい
▶次の日にお酒が残りにくい	▶あまりたくさんのお酒を飲めない

飲酒・喫煙・薬物乱用防止教室

成長期にアルコールを飲んではいけない理由

 健康な人の脳	 飲酒をする人の脳
---	--

飲酒・喫煙・薬物乱用防止教室